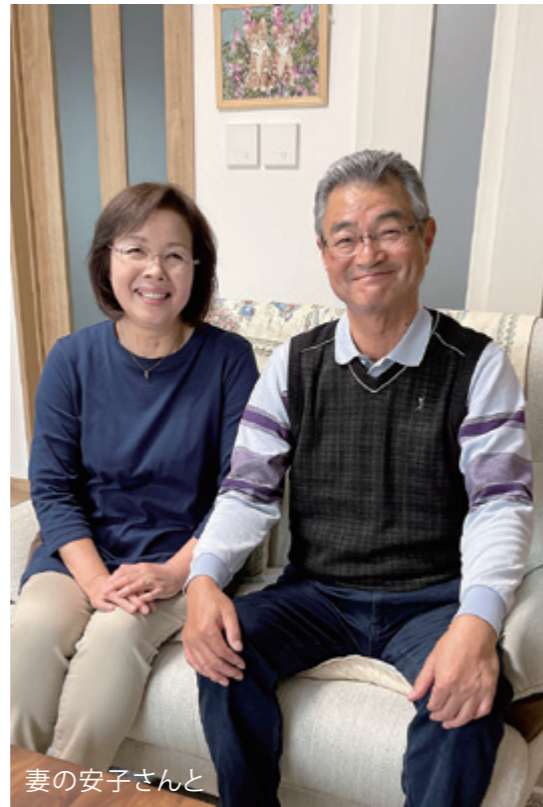


はなれていても

赤石澤 正信さん（上飯櫃） 福島県福島市在住



妻の女子さんと

飯曾郵便局を始まりに、退職するまで郵便局に勤務。後半は異動もあり忙しくなりましたが、地域の人と関わる仕事は楽しかったですね。

若い時から猫をやっていました。犬を訓練したり、キノコや山菜を採ったり、ヤマメ釣りをしたり、山川にどっぷり。自然の中での暮らしを満喫していました。また、「夢創塾」では、若者有志が山村でどう楽しく暮らすかを語り

合い、ホラ吹き大会を開いたり、山に木を植える会を開いたり。体育協会では、体を動かすことを仲間と楽しんでいました。

全村避難となり、朝起きるたびに「なんでここにいるんだっけ」と思ったものです。退職後の第二の人生が避難の時間になってしまった。仕方がないと納得するまで、随分と時間がかかりました。

県の委託事業で役場に派

遣され、避難先自治会の支援の仕事をしました。平成26年からの8年間は、地元役員も務めました。除染や仮置場設置の問題、農地をどう守っていくかも大きな課題で、前例のない農地の集積にも取り組み始めていました。

ゆくゆくは嫁いだ娘の住む福島県という構想はありました。けれど避難で来たというのは全く違う。思いはますます複雑になっています。それでも今は、周りに迷惑をかけないよう、人となりが、ここでの生き方をしたいかなければと考えています。

村では隣りの製材所の好意で材料が手に入り、木彫も長く楽しんでいました。人の勧めで、今回初めて村の文化祭にも出品しました。

村に戻ってやれることと、やれないことがあります。残り的人际关系を、楽しくわくわくして過ごしていきたい。そう願っています。

地域おこし協力隊 いたてDIARY

ダイアリー

みなさんこんにちは！今年は暑すぎる夏から秋が瞬間に過ぎ行き、早くも冬將軍の気配がするような...？

さて、今年の飯館村はイベント盛り盛りで、大雷神社のお祭りや秋祭り、マルシェなどなど。コロナ禍に移住してから延期や中止になっていた催し物に沢山参加できました。広報紙に寄稿する度に村での思い出を振り返りますが、「あ～飯館村に住んでよかったなあ」と毎回思うのです。

知らない土地に「移り住む」ことは私にとって人生の分岐点でもあり、大きな賭けでもありました。でも村に来て後悔したことは一度もありません。いたて暮らし最高～！…って、え？そろそろ今年も終わり？年々早すぎませんか！…ひとまずコタツ出します！笑



今月のライター
飯館村地域おこし協力隊
大槻 美友さん

おいしい飯館！ままでの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう！

村の山にも自生するナツハゼ。実は秋に熟します。村では「ヤマオトコ」とも呼ばれます。



ナツハゼの巻

代表を務める「ニコニコ菅野農園」でナツハゼを研究し、特産品の開発にも取り組んでいます。



菅野 クニさん
(宮内)

「里山の黒真珠」ナツハゼに魅せられて

国内に広く分布するナツハゼは、ブルーベリーと同じツツジ科スノキ属の落葉低木です。全村避難中の平成24年に「ニコニコ菅野農園」を立ち上げ、現在は村内でもナツハゼの栽培に取り組んでいます。ナツハゼは、目の疲労回復などに効果があるとされるアントシアニンを、他のベリー類の数倍含んでいることが確認されています。秋に熟する実の美しさは、まさに「里山の黒真珠」です。



ジャムのアレンジ！

アイスクリームなどと相性抜群のジャム。オイル（オリーブオイル・エゴマ油など）と塩コショウを加えると美味しいドレッシングに。



ナツハゼのお赤飯

もち米または白米を炊き、ナツハゼの塩漬けを汁と一緒に適量混ぜ込みます。爽やかな香りとほどよい酸味は、他にはない美味しさです。

ナツハゼを風味豊かに味わえるジャム、羊羹、アイスなど「ニコニコ菅野農園」の商品は「いたて村の道の駅までい館」で購入できます。



交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介しします



きみのことがだいすき
いぬいさえこ作
パイインターナショナル
発行

森の中にいるどうぶつたちのやさしい言葉に心が救われる1冊。アカネズミやホンダヌキ、ニホンリスなどのかわいい絵にも心が癒されます。絵本を通してたくさんの愛のメッセージが伝わってきます。親子でも、大人の方でもぜひ読んでみてください。



かぎ針で編む植物モチーフのアクセサリ
曾根静夏著
日本ヴォーグ社発行

かぎ針を使い、立体的でかわいらしいアクセサリを作るコツを知ることができます。糸とビーズのさまざまな組み合わせで素敵なアクセサリを作ってみませんか。

先日の「第39回いたて村文化祭」の作品展では、たくさんの方々の素敵な作品が飾られました。交流センターの図書を参考に、趣味を広げていきましょう。